



被災した文化財のレスキュー

令和六年（二〇二四）一月一日に石川県能登地方を震源とした能登半島地震が発生しました。この地震では多くの方が被害にあわれ、今でも大変な思いをされています。

災害が発生した際、まずは生命を守ること、そして、生活を立て直すことが最優先課題となってきました。

災害からの復興のなかで、これらの最優先課題に加えて、自分たちの住む地域の歴史やアイデンティティを示す文化財を救うことも、重要な課題として挙げられます。

災害が発生すると、文化財も被害を受けたり、直接被害を受けなくても生活再建のための片付けで捨てられてしまったり、管理する人が不在となり管理されなくなったりしてしまうことが出てきます。

能登半島地震においても、地元の自治体の文化財保護部門や博物館、国（文化財防災センター）、そして史料ネット（災害発生時に文化財を守るために結成された団体）が、文化財を救う活動にあたっています。

私たちが住む静岡県においても南海トラフ地震の被害が想定されています。また、

近年は大雨による被害も増えています。万一災害が発生した場合に備えて、文化財のレスキューの準備を事前しておくことが大切です。

事前にできる準備には、文化財がある場所や保管状況を把握しておくことがあります。災害が発生してから文化財がどこにあるかを探しているのは、救い出すまでに時間がかかってしまいます。事前に文化財の所在や保管状況を把握しておくことで、災害発生時に早く確認の動きがとれます。また、所在や保管状況を確認する際、所蔵者に文化財を守るための声かけやアドバイスもすることもできます。

浜松市博物館では、令和七年（二〇二五）から大学の教員等と連携しながら、浜松市内の文化財のうち古文書の所在状況の確認を始めました。まずは、佐久間地区で調査を進めています。

災害によって文化財が被害にあわないことが一番良いのですが、完璧に被害を防ぐことは困難です。例えば大雨や津波によって文化財が水に浸かってしまったり、それによってカビがはえてしまったりすると、

「こみ」として処分されてしまうことがあります。しかし、水に濡れてしまった文化財でもレスキューの方法があり、実際に台風被害や東日本大震災の津波被害を受けた文化財が救済されています。

それらのレスキュー活動にあたった方々によって、水にぬれた古文書を中心に紙資料を救う方法を学ぶワークショップが各地で開かれています。当館でもそれらの方々に教えを受けて、昨年十二月二十六日に市民向けのワークショップを開催しました。参加者の方々には熱心に取り組んでいただきました。

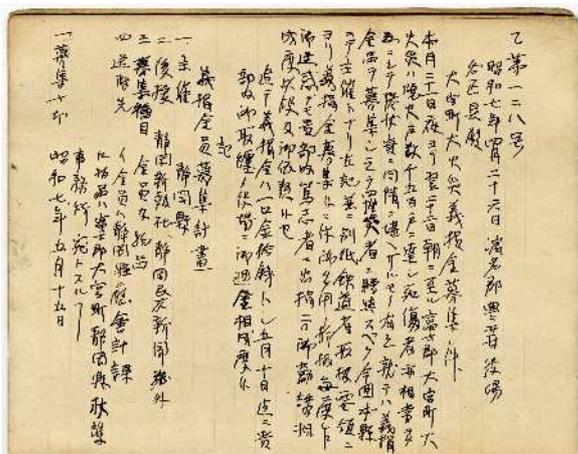
災害の被害を受けても、文化財を守る方法があること、そして、日頃から身の回りの文化財にも関心を持っていたり、文化財を守ることにつながることを知っていたら、いいと思います。



浜松市博物館で行われたワークショップの様子
水にぬれた模擬古文書の水分をとって乾燥させる体験をしました。

【収蔵資料の紹介】

区長日誌



本資料は、恒武町（中央区）の方から寄贈を受けた、昭和 7 年（1932）の区長日誌です。寄贈者の曾祖父が当時豊西村の第五下区（恒武町）の区長を務めていたため作成されたと考えられます。

豊西村は明治 22 年（1889）から昭和 26 年（1951）までの間にあった自治体で、現在の笠井地区の一部が村域でした。

区長日誌には、区長として作成した記録や豊西村からの通知が記されています。通知に記されている内容は衛生や税、軍事に関わることなど多岐にわたります。写真で掲載したのは、昭和 7 年 4 月 21 日に富士郡大宮町（現富士宮市）で起きた大火の罹災者に対する義捐金を募集するとの趣旨の通知です。

豊西村からの通知は、原本があったと考えられますが、区長日誌にはそれらを写して記載をしています。区長の業務にとって通知を把握すること、そして記録に残しておくことが必要なことと、本資料の寄贈者の曾祖父は考えていたようです。

原本が残されていなくても、区長日誌にこのように豊西村からの通知を写してあることから、豊西村の行政のあり方の一端をうかがうことができます。

催し物のご案内

★小展示「道具たちの 100 年」

2025 年 11 月 22 日(土)～2 月 23 日(月・祝)

「回転の力を生かした道具たち」のテーマのもと、道具と暮らしの移り変わりを展示しています

★干支展「ウマ」

1 月 29 日(木)～3 月 8 日(日)

2026 年の干支「ウマ」にちなんだ資料を、豊橋市自然史博物館との相互貸借により紹介します。

★小展示「屏風や襖の下張文書からわかるもの」

3 月 20 日(金・祝)～5 月 24 日(日)

当館で行っている下張文書の調査成果をご紹介します。

★小展示「5 世紀の伊場遺跡」

3 月 20 日(金・祝)～6 月 23 日(火)

5 世紀の伊場遺跡をさまざまな出土品からご紹介します。



伊場遺跡出土滑石製模造品

★昔の暮らし体験館

2 月 21 日(土)～2 月 22 日(日)

・昔の道具体験、ガイドツアー等を実施します。

★かやぶき屋根の下で聞く日本の昔ばなし

2 月 14 日(土)、3 月 14 日(土)

14:00～14:30 (申込不要)

会場 旧高山家住宅(蛸塚公園内)

★春休み体験館

3 月 20 日(金)～3 月 29 日(日)

※ 23 日(月)は休館日

<事前予約制のイベント>

・ミニ織物体験(募集期間 2/13～3/12)

・屏風の中に眠っている古文書を見つけ出せ(募集期間 2/1～3/11)

他にも当日参加可能なイベントを実施します。

左から
ホームページ
X(旧ツイッター)
インスタグラム



※各事業の詳細は、HP や SNS でご確認ください。

※イベントは、変更、中止になる場合があります。

浜松市博物館

〒432-8018 浜松市中央区蛸塚四丁目 22 番 1 号

電話:053-456-2208

メール:hamahaku@city.hamamatsu.shizuoka.jp

開館時間:午前 9 時～午後 5 時

休館日:月曜日(休日の場合翌日)

臨時休館日(2/25)